

海外短信



～ カンボジア ～

カンボジアでの人材育成の取り組み
住友電装株式会社

カンボジアは、ベトナム、タイ等と国境を接し、総面積は日本のほぼ半分で1年を通じて日本の真夏に近い気候です。人口約1,500万人のうち25歳以下が全体の50%を占める、若く活気に満ち溢れた国です。

2011年6月、住友電装は首都プノンペン近郊にある経済特別区にSumi (Cambodia) Wiring Systems Co. Ltd. (以下SCWS社)を設立し、現在では約1,400名の従業員を擁し、自動車用ワイヤーハーネスを製造しています。

カンボジアは1970年代からの内戦にて、教師を含む多くの知識人が迫害を受けたことや経済的背景により、現在でも学校教育が十分に機能しているとは言えません。プノンペン等の一部の大都市を除き、25歳前後の約3割の国民が識字など基礎学力を習得していないといわれています。こういった背景もあり、2013年秋、SCWS社にて新入社員を対象に社内学校「SOK SABAY ※ SCHOOL」(ソク サバイ スクール)を開校しました。※ SOK SABAY: クメール語で「元気に!」という意味

この学校では、社会人としてのモラル、習慣として「5Sをはじめとする躰」「挨拶」「時間遵守」「社会人としての自覚・責任」、教養としては「クメール語の読み書き」「英語のアルファベット」「算数」などを学び、現在では、毎月100名以上の卒業生が工場に配属されています。

本年7月にはカンボジア開発評議会事務局長である、ソクチェンダ・ソフィア首相補佐特命大臣がSCWS社の取り組む社内学校に興味を持たれてご視察されました。偶然行われていた「将来の夢」の授業に関心を持たれ急遽、特別講師として「働く目標・目的の大切さ」について大臣が直々に講義頂く機会にも恵まれ「カンボジア人に学ぶ機会を与えて頂き感謝します」と言うお言葉もいただきました。

まだまだ、課題はありますがカンボジアで事業を継続する上で、SCWS社は今後もこの学校を通じて人材育成のInnovatorとしてカンボジアのさらなる発展に貢献しつつ、お客様にも更に貢献できる会社づくりを推進致します。



【語学教育の様子】



【授業風景】



【カンボジア大臣ご視察】